

武庫川臨床教育学会 ニュースレター

2025.9.30 No.30



第20回研究大会記念講演は広木克之さん 不登校の「心の傷」が癒えるとは(仮題)

第20回研究大会は、2026年3月7日（土）、武庫川女子大学で開催予定です。皆様の参加をお待ちしています。記念講演は、神戸大学名誉教授で、東京・長崎・兵庫などで不登校・登校拒否の相談員をされている広木克之さんに決定しました。講演タイトルは「不登校の『心の傷』が癒えるとは（仮）」です。また、参加者全員によるシンポジウム「臨床教育学と私」も企画しました。渡邊理事による基調報告のあと、参加者でグループ討論を行う予定です。自由研究発表は午前の予定です。HPでも紹介しますが、自由研究発表の締め切りは2025年12月30日です。

広木先生の近著を紹介します

『不登校の「心の傷」が癒えるとは』 清風堂書店

「不登校 34.6 万人」が意味することとは？ わが子の不登校に直面した親が考えること…
学校に戻すことが、目標ではない。原因を探すことはどうしてダメなのか。
「寄り添う」とはどういうことかー各地の講演でお話しになったことがまとめられています。



武庫川臨床教育学会
<http://mukogawarinkyo.com/>

〒663-8558
兵庫県西宮市池開町 6-46
武庫川女子大学教育研究所内

電話番号:075-922-7749（吉益自宅）
メール: mukogawarinkyo@yahoo.co.jp

充実した桃山学院大学訪問



昨年、台風のため急遽中止になった桃山学院大学訪問。今回は 8 月 29 日（金）に、会員の加藤恵美子さんが万全の準備をして迎えてくださいました。南海線・和泉中央駅から徒歩約 20 分。大学の校舎エノア館 304 号室に集合しました。上田理事、渡邊理事、会員の田中さん、北川さん、吉益の 5 人が参加しました。

丁寧な学内見学

大学の関係者の方が、丁寧に施設案内をしてくださいました。最初にキャリアセンターのあるヨハネス館に行きました。桃山学院大学はキリスト教の大学であるため、建物はすべて聖書に関する名称がついているようです。キャリアセンターの責任者の方は、学生の状況、センターの仕事、最近考えていることなどを丁寧に説明してくださいました。次に、教職センターのあるペテロ館と、福祉・幼児教育の実習室があるマーガレット館へ行きました。実際に自習している学生もおられました。そのあと、図書館のあるアンデレ館、情報センター、模擬裁判教室のあるトマス館に案内してもらいました。大きな模擬裁判教室には驚きました。最後に、教室棟（学習支援・資格サポート室）と、チャペル（下の写真）に案内してもらいました。資格サポートセンターがあり、学生の最近の資格取得の傾向を聞かせてもらいました。とにかく広大な敷地で、緑にかこまれた素敵な校舎施設でした。



意見交流

学内見学後、エノア館 304 号室に戻り、人間教育学部の取り組みについて加藤会員が資料を提示して説明されました。加藤ゼミの学生さんも一名参加してくださり、大学の支援が行き届いていること、ゼミの様子、なぜ教師になろうとしたのかなどを語ってもらいました。

次に、「困難を乗り越えて教師であり続けるために」というテーマで意見交流をしました。加藤会員は、教員養成にかかわる中でエネルギーをもらっていると語られました。教師になった卒業生たちの進路にも触れ、かれらが困難を感じたときにどう切り抜けているか、大学での学びを現場にどう生かしていくかなど、参加者もそれぞれの立場から意見を述べ、有意義な交流をすることができました。

学食での食事と歓談

最後に、マーガレット館の食堂で和やかに昼食をとりながら、歓談しました。食堂での歓談では、加藤ゼミの学生が教員採用試験に臨む前であったため、これから社会に出てゆく若者を囲み、未来ある話を交わしました。

半日の訪問でしたが、とても充実したひとときでした。加藤会員、お忙しいにも関わらず、ありがとうございました。

1. 教育（福祉）実践の報告 報告：小保方 敬子 会員（日本メディカル福祉専門学校）

2025 年 10 月 4 日（土）17 時開始 オンラインにて

「教育現場におけるソーシャルワーク実践について（仮題）」

指定討論 中村副会長（予定）

2. 社会福祉法人大阪西本願寺 常照園への視察 案内：小西 健太 会員

常照園アクセス

2025 年 11 月 1 日（土）10 時 現地集合



参加申し込みは事務局までお願いします。

「1. 教育（福祉）実践の報告」は 9 月末が締め切り、「2. 常照園への視察」は 10 月 25 日が締め切りです。「1」に関して、オンライン参加用の URL は申し込みがあった方に送信いたします。

ニュースレター郵送からメール発送への変更に関するお願い

郵便料金が改定されたため、ニュースレターの郵送費が増えてしまいました。ご迷惑をおかけしますが、可能な限り、メールでの発送に切り替えていただきたいと思います。まだお知らせ頂いていない方で、メール発送でよい方はメールアドレスを事務局にお知らせください。現在 61 名の方がメール発送を登録されています。また、引き続き郵送を希望される方も、その旨、事務局にお知らせください。この機会にメールアドレスの情報も最新にしたいと思っております。

事務局メールアドレス → mukogawarinkyo@yahoo.co.jp

会費納入のお願い

年会費の振り込みをお願いいたします。本学会は、皆様の会費徴収によって成り立っています。会が存続するためにも、忘れることのないようにお願いします。もしも滞納期間がわからない場合は、メールでお問い合わせください。

また、3 年以上会費を滞納されている方は、除籍対象（会員資格を失うこと）になりますので、ご注意ください。

退会手続きについて

様々な事情により、退会される会員の方もおられると思います。その場合は、必ず事務局にご連絡ください。その後、理事会で確認・討議を行い、その旨を連絡させていただきます。ただし、その時点までに生じている会費の納入については、お振込みいただきますようお願いいたします。



シリーズ：私と臨床教育学②⑦

研究領域を超えて問いを考える臨床教育学

荒木 実代（神戸医療未来大学）

私の臨床教育学との出会いは、介護福祉士養成校に通っていた時の故白石大介先生との出会いにはじまります。受講生同士、互いの考えを交流させることができる授業は、とても新鮮で印象に残っていました。卒業後は、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で介護主任となり、人手不足の危機に悩みました。そのような折に、養成校時代の恩師から、白石先生が武庫川女子大学を退職される前に修士課程に進みなさいと助言を受けました。それが、臨床教育学研究科修士課程に入学した経緯です。2008年のことでした。

修士の同期生には、小・中学校や看護学校等の教育職、心理職、会社経営者など様々な方がいて、臨床における問題意識の高さに圧倒されたことを覚えています。白石先生からは、「臨床の場に添うこと」と「ミクロもマクロも大切にすること」を教えていただきました。ゼミでは、ゼミ生同士、近況を語り合うことからはじまりました。その話から、子どもでも高齢者でも生きていく上での困難や希望には共通している部分があると思ったものです。同時に、well-beingに導く手立てが必要で、複眼的に思考することの面白さを教えていただきました。白石先生は体調が芳しくない中でも、私のアンケート調査のために介護施設に依頼し一緒に回ってくださいました。北海道家庭学校に行こうとした実地研修は、最終的には登別温泉と旭山動物園に行くという北海道旅行になりましたが、楽しい思い出です。

博士後期課程では、上田孝俊先生と安東由則先生に師事させていただきました。博士論文では、自らの実践経験にはなかった児童福祉を対象としたことで、長らく私は「自らの問い」を言語化することに苦慮しました。しかし、上田先生は、インタビュー調査の際には、他府県であっても一緒に調査に出向いてくださり、その度に「問い」について何度も考える機会を与えてくださいました。上田先生からは、教育職として児童の生活や発達という福祉的な視点をどのように捉えていたか、たくさんの議論を通して教えていただきました。そのような議論を通して、研究をまとめる段階においても「問い」が言語化できない私に対し、安東先生との議論を通して、「教育的な視点と福祉的な視点とのクロスオーバー」という、臨床教育学だからこそその研究視点を教えていただきました。

臨床教育学は、人と人との出会いやつながりを生み、人間の成長と発達について実践や研究領域を超えて議論ができる唯一無二の学問だと思っています。臨床教育学の学問の強みを生かして、これからも人間の発達を支えることについて考え続けたいと思います。

次回以降の予定は、佐藤安子さん、本多裕子さん、梨木昭平さん（順不同）です。



編集後記

▲夏の終わりの小さな研究会、桃山学院大学訪問は、ご紹介したように充実したひとときでした。参加者のみなさま、ご苦勞様でした。10月、11月の学習会、みなさまの参加をお待ちしています。▲3月の研究大会の骨格も、ほぼ決定いたしました。節目の20回大会、質・量とも充実した大会にしたいと考えています。編集委員会も『臨床教育論集』第17号において、それに呼応して発行準備をされています。大会前に発行予定です。ご期待ください。▲会費納入も併せてよろしくお願いします。9月とはいえ暑さが厳しい毎日です。ご自愛ください。

<文責：吉益、装丁：渡邊、発送：二羽>